



議会だより

な お し ま

新体制でスタート.....2:3P

人口減少の歯止めは(町長所信表明)....4P

意識改革を(町長・教育長報告).....6・7P

町長どう考えますか(一般質問)....10・11P

U・Iターン者に聞く.....12P



2011
No. 156
平成23年7月8日

発行●香川県直島町議会
編集●議会広報編集特別委員会
電話●(087)892-2297
印刷●山陽印刷(株)

護王神社で結婚式を挙げた飯田次郎・ルリ子さん御夫妻(本村「まるや」のオーナー)
観光客や地元の皆さんに祝福され一緒に記念撮影をしました

スタート

初議会

選挙後、初めての臨時議会が5月10日に招集され、10人の全議員が出席しました。

議長・副議長の選挙を行い、続いて常任委員会・特別委員会・議会運営委員会などの議会構成を行いました。

就任挨拶

議長 蓬 清二

副議長 丸山 義朗



蓬 清二 議長

常に最善の努力を

町議選後に開催された初議会におきまして、議員諸氏より温かいご推挙をいただき、誠に光栄に存じております。とはいえ、内外ともに混乱する状況の中で、その責任の重さも改めて痛感しているところで。さて、直島町にとっていま最大の課題は、何といても中間処理施設の有効利用であります。現在、関係者により、あらゆる角度から検討しておりますが、原料の収集、処理コストの面など極めて難しい状況のよう



丸山 義朗 副議長

まだまだ、勉強の毎日です

今後、どのような展開になるか予想できませんが、「豊島産廃処理受入条件の一つに「町の活性化をはかる」という項目がある以上、安易な妥協をすることはできません。次に、離島振興法の指定を引き続き継続することです。直島本島が、平成15年に国交省より指定されましたが、来年度はその見直しの年となっております。この法律は、町財政にとって大変有利な制度であり、執行部とともに国交省へ継続するよう強く要請していきます。その他、議会として取り組む課題は山積しておりますが、常に最善の努力を尽くすことをお誓いし挨拶といたします。

初議会において、議員の方々にご推挙をいただき副議長の大役を務めさせていただきました。身にあまる光栄と思っておりますが、責任の重大さも痛感しております。議員にさせていただき4期目となりましたが、まだまだ勉強の毎日です。町発展のため、町民の皆様のご支援を賜りながら微力ではありますが、少しでも蓬議長の手助けができればと思っております。よろしくご指導の程、お願い申し上げます。挨拶

議会構成

常任委員会

◆総務・文教

- 委員長 中野善正
- 副委員長 石川知久
- 委員 井下良雄
- 委員 小林眞一
- 委員 丸山義朗

◆経済・民生

- 委員長 作田 宏
- 副委員長 浜口敏夫
- 委員 大谷智子
- 委員 小野孝一
- 委員 蓬 清二

特別委員会

◆活性化対策

- 委員長 井下良雄
- 副委員長 小林眞一
- 委員 議員全員

◆広報編集

- 委員長 丸山義朗
- 副委員長 作田 宏
- 委員 議員全員

議会運営委員会

- 委員長 中野善正
- 副委員長 作田 宏
- 委員 石川知久
- 委員 浜口敏夫

玉野市・直島町連絡協議会

- 理事 蓬 清二
- 委員 丸山義朗
- 委員 中野善正
- 委員 作田 宏
- 委員 石川知久
- 委員 浜口敏夫
- 委員 井下良雄
- 委員 小野孝一

香川県後期高齢者医療広域連合議会

- 議員 蓬 清二



初議会を開きました

新体制で

一生懸命
がんばります

町民の皆様のご代表として、直島町がさらに発展するよう、開かれた議会を目指します。傍聴に来て下さい。



ひとりを
大切に

作田 宏 議員



女性を議会に

大谷 智子 議員



住民目線・
未来構想

井下 良雄 議員



奮励努力

中野 善正 議員



古里なおしまに
恩返し

小野 孝一 議員



笑い声が
あふれる家庭

浜口 敏夫 議員



大胆に実行・
細心の配慮

小林 眞一 議員



有言実行

石川 知久 議員



各課の状況を聞き議論(委員会風景)

委員会
小野孝一

議会選出監査

局長
田中正平
事務員
乃村治子

議会事務局

止め対策は



所信表明する濱田町長

6月定例会を15日に開催しました。まず、4期目を迎えた濱田町長から今後の課題・町づくり等について所信表明があり、議員から多くの質問が出ました。

続いて町長・教育長報告があり、一般質問では3人が町政を問いました。

平成23年度補正予算等、報告2件・議案7件を審議し、いずれも原案どおり承認・可決し、全日程を終了しました。

町長所信表明

町づくりのテーマ

- 「町民の皆様が物心共に豊かで、健康そして安心と幸せを実感し、温もりと活力のある町づくり」の実現
- 「小さい島を大きく美しく「実」のなる島へ」あなたとともに前進

政治姿勢

- 「直島町並びに町民の皆様のために働かせていただく」
- 「信頼・決断と実行責任」

主な課題事項

- ◎多角的経済基盤の確立
- ◎健全な財政運営
- ◎豊島廃棄物等中間処理終了後の対策、町一般ゴミ対策
- ◎南海地震対策を含めた災害に強い町づくり
- ◎高齢者・身体障害者等の福祉の充実

- ◎こどもはみんなの宝です。子育て支援・少子化対策
- ◎結婚の促進と若者、女性の活動の支援
- ◎海上交通・住環境の整備など定住対策と利便性の向上
- ◎循環型社会構築の先進地として環境施策の推進
- ◎瀬戸内国際芸術祭の継続と発展
- ◎各種団体等の後継者の育成
- ◎スポーツ・文化の振興
- ◎住民サービスの向上
- ◎職員の意識改革の促進
- ◎その他、町内水道施設の老朽化対策や東部公民館付近の整備などいろいろあるが、一つひとつ着実に進めたい。

愛する直島のために、町民の皆様幸せのために、力の限り頑張らせていただく。

主な質疑

Q (井下) 子育て支援や結婚の促進、また、住環境の整備などは人口減少の歯止め対策

に通じるが、具体的な改善策を考えているか。

A (町長) 子育て支援は保護者の方々

から意見を聞き、真剣に前向きに取り組みたい。結婚の促進は出会い隊に期待し、その意見にそって協力したい。



水道安定供給のため施設を大改修

人口減少 歯

平成23年度補正予算

一般会計

歳入歳出予算の総額にそれぞれ6、020万2千円を追加し、31億7、422万3千円となりました。

◎歳入	
●国庫支出金	29万円減額
●繰入金	3、000万円追加
●繰越金	3、049万円追加
◎歳出	
●衛生費	5、179万円追加
●商工費	120万円追加
●教育費	721万円追加

特別会計

国民健康保険事業

歳入歳出予算の総額にそれぞれ65万6千円を追加し、4億5、557万8千円となりました。

◎歳入	
●国庫支出金	65万円追加
◎歳出	
●総務費	65万円追加

診療所事業

歳入歳出予算の総額にそれぞれ24万5千円を追加し、2億4、784万円となりました。

◎歳入	
●繰越金	24万円追加
◎歳出	
●医業費	24万円追加



解体する予定の旧し尿処理場

工事請負契約・備品購入

- (主な備品購入)**
空調設備については、震災による材料費の高騰で追加補正となった。
- ◎小学校空調設備整備 346万円追加
 - ふれんどルーム・音楽室・理科室・家庭科室・図工室にエアコンを設置。
 - ◎中学校空調設備整備 258万円追加
 - 理科室・音楽室・調理室にエアコンを設置。
 - ◎ふれあい診療所 24万円追加
 - 血液凝固分析装置・顕微鏡を購入。
- (主な工事・請負契約)**
- ◎旧し尿処理場解体工事 3、000万円
 - ◎積浦漁港物揚場等建設工事請負契約 9、786万円
 - 国からの補助60%
 - 県からの補助15%
 - 町の負担分25%となっています。



購入予定の血液凝固分析装置と顕微鏡

農業委員会委員を推薦



西岡 幸子氏

任期満了に伴い、町長から農業委員会委員の推薦について依頼（議会が推薦し、町長が選任）があり、議会として西岡幸子氏を再度推薦しました。任期は平成26年7月19日まで。

意識改革を!!

笑顔・親切・挨拶を



町長報告

濱田町長

(主なもの)



増設した“ソラシオ”製造装置

- 3月24日 3・11大震災で甚大な被害を受けた小名浜製錬所へのお見舞金を三菱マテリアル(株)直島製錬所飯田所長にお渡ししました。
また、町と職員一同から赤十字社を通じて、それぞれ義援金を送りました。
- 4月1日 直島太陽塩噴霧式塩分濃度上昇設備完成報告会がつり公園で開催されました。
- 4月14日 全国離島振興協議会による「離島振興法改正検討会議内海離島分科会」が東京で開催されました。
- 5月2日 町長4期目の就任に当たって全職員に訓示しました。
- 5月9日 身体障害者直島分会の総会が民生会館で開催されました。
- 5月25日 シルバーカルチャー教室が西部公民館で開催、講師として招かれ「町の現状とこれからのまちづくり」と題した講話を行いました。

主な質疑

Q (中野) 小名浜製錬所の復旧状況は。

A (町長) 7月から稼働し順次ピッチをあげていく予定と聞いている。

Q (井下) 全離島会議の内容は。

A (副町長) 瀬戸内4市町村(笠岡市・姫島村・上島町・直島町)の代表が一堂に会して、平成25年3月31日に期限切れになる離島振興法の継続延長に向けて、それぞれが問題点を洗い出し、関係する国会議員に働きかけた。

Q (井下) 町長訓示の内容は。

A (町長) 「笑顔・親切・挨拶」で町民の皆さんに接するように。また、ハウレンソウ(報告・連絡・相談)を実行。そして組織のタテ・ヨコの連携を密にして、日常業務にプラス



シルバーカルチャー教室で講話する町長

ルファの仕事。常に企画性を持ち前進し、町民の皆様のために働かせていただいているという意識改革を強く望む。また、部下を叱る時には遠慮なく叱って職員育成に資することなどについて訓示した。

A (町長) いろいろ要望はあったが、その件は出なかった。

Q (大谷) カルチャー教室での高齢者からの意見は。

A (町長) 遠慮しているのか意見はなかった。もう少し多くの人に出席してほしい。

Q (小野) 身体障害者直島分会総会で雇用の話題はなかったの



幼小中合同運動会で

学校も
防災計画を見直す



教育長報告 岡教育長

(主なもの)

- 3月23日 香川県教育委員会が教職員の人事異動を発表し、直島小・中学校では転出者13人、転入者15人となりました。
- 3月23日 東日本大震災の発生を受け、避難方法等について学校(園)の防災計画を見直すよう、幼児学園・小・中学校の管理職に指示を行いました。
- 3月27・28日 中学校生徒会主催による直島一周ゴミ拾いツアーが行われました。
- 4月8日 中学校(全学年72人)、11日 小学校(全学年146人)で入学式、12日には幼児学園(全園児62人)の入園式が挙行されました。
- 4月15日 平成23年度文部科学省新規研究開発学校に小・中学校が指定され、本年度から3年間にわたる研究推進が行われます。
- 5月22日 文化協会芸能大会が開催されました。
- 5月27日 幼・小・中合同運動会・町民体育祭開催に係る関係者会議が行われ、合同運動会は31日に延期、町民体育祭は中止となりました。

主な質疑

Q (浜口) 中学校卒業生28人の進学先

は。

A (教育長) 香川県16人、岡山県10人、他県2人である。

Q (井下) 防災計画の見直しの状況は

学校だけの判断か、有識者を入れているのか。

A (教育長) 津波の高さを想定し、中

学校は20m程度の高さにあるので津波の高さはクリアできる。

Q (中野) 研究開発学校としてのテーマは。

マは。

A (教育長) 小学校に英語を教科として導入することについての内容等である。学習指導要領は10年ごとに改訂されるが、そのための資料収集である。

Q (大谷) 世の中の変化が早い中、学

校を避難所として計画する。学校が案を作り、PTAに示して作成する。

Q (浜口) 他市の市町では避難所が浸水の被害を受ける所があるとのことだが、

当町の状況は。

A (教育長) 香川県では4市3町に浸水の場所がある。幸い当町にはない。中

習指導要領の改訂は10年ではないのか、もっと早く見直す必要があるが、そのような意見があったことを伝える。

A (教育長) 適正な長さで判断してい



研究開発学校で英語を教科として実践

平成23年度直島町教育方針

基本方針

- ①生涯にわたって学び続ける意欲を養い、基礎・基本の確実な定着を図るとともに、自ら学び自ら考える力を育てること。
- ②人間や自然を愛する心を養い、豊かな道徳性を育てること。
- ③自主・自立の精神を養い、たくましい心身を育てること。
- ④町民憲章に基づき、力をあわせて豊かな美しいふるさとをつくる心を育てること。
- ⑤社会連帯の意識を養い、国際的視野に立ち国を愛する心を育てること。

委員会レポート

5月から両委員会のメンバーが変わりました。よろしくお願ひします。5月26日と31日の2日間総務文教・経済民生の合同常任委員会を開催しました。主なもののみ報告します。



作田 宏 委員長

経済・民生

- ⑥ 病床稼働率 41・5%
- ⑤ 胃カメラ検査 38人
- ④ 骨密度検査 44人
- ③ 時間外救急患者 1日平均 2.2人

- 4月6日 平成23年度狂犬病予防注射を町内5カ所で37匹に実施
- 5月8日 香川県17ウオーク（8市9町）直島町大会を開催
- 参加者町内39人・町外14人
- けし対策について 推進委員3人により巡

- 直島げんき通所サービス利用者5人（定員6人）
- 高年齢者専用賃貸住宅全8室入居
- 等報告を受けました。

- 宮浦港の遊漁船の棧橋が危険なので、修理の必要がある。
- 等意見がありました。

平成23年度議会閉会中の常任委員会継続調査案件

◎経済民生常任委員会

1. 人口増加対策（空家・空地の有効利用とU・Iターンの調査）について
2. 環境美化とマナーの徹底（観光客対策を含む）について

◎総務文教常任委員会

1. 議会の改革について
 - ① 議員定数見直しの検討
 - ② 議員報酬見直しの検討
 - ③ 研修等の見直しの検討
2. 行財政の改革について



中野 善正 委員長

総務・文教

〔総務課〕

カップル6組誕生

○ 3月19～20日、直島出合い隊イベント第11弾「春よ恋♡」20組誕生

11 in 直島」を開催。内容 自己紹介、カップリングパーティー、アート鑑賞。

参加者 男性20人 女性15人
結果 カップルが6組成立。

GW混雑対策

○ G・W中のバス乗客数は 5月1日～5日 13、583人

最高は5月4日 4、476人

でバスの増便・乗車案内などにより大混雑はなかった。

〔今後の予定〕

- ① 直島出合い隊イベント第12弾を7～8月ごろ実施
- ② 総合防災訓練（香川県と共催）
- 〔日時〕平成23年9月1日

《場所》町民グラウンド周辺

〔教育委員会〕

移動図書館開く

○ 4月27日、移動図書館開設。利用者32人、貸出308冊。

バレーボール大会盛大に

○ 4月29日、第11回直島つつじ杯バレーボール大会を開催し、普通寺チームが初参加した。

参加者が大幅に増

○ 5月22日、芸能大会を開催し若い出演者を含め138人が参加、来

場者も434人と大幅に増えた（昨年260人）

○ 5月27日、瀬戸内国際こども映画祭事務局員が、打ち合わせのため来庁された。

〔税務課〕

滞納処理の強化を

町民税、固定資産税、国保税、介護、後期高齢者保険料などの納税状況報告を受けました。その内、国保税滞納が多額であるため改善するよう指摘しました。

常任委員会

〔ふれあい診療所〕

医師が交代

○ 診療状況（平成22年度年間）
① 外来患者 1日平均 83・8人

② 入院患者 1日平均 7.8人

③ 時間外救急患者 2.2人

④ 骨密度検査 44人

⑤ 胃カメラ検査 38人

⑥ 病床稼働率 41・5%

〔住民福祉課〕

高齢者福祉の状況等

○ インフルエンザワクチン（季節性+新型）1、314人（人事）4月1日付で、十河泰司医師（循環器専門）が着任された。

視及び除去作業を実施

○ 特養レファシード直島 入所者数50人（内町民入所待機者 47人）
② ショートステイ事業 4月延べ利用者数148人
③ デイサービス事業 営業日数 26日 登録者 45人

直島げんき

○ 直島げんき通所サービス利用者5人（定員6人）
高年齢者専用賃貸住宅全8室入居

〔建設経済課〕

○ 3月9日 四国汽船㈱から、海の駅イベント交流広場へ長椅子10脚の寄付があった。

○ 3月31日 直島港第一期高潮対策事業地元説明会を民生会館で実施。

○ つり公園のP・Rとして駅にポスターを貼ったり、ホームページで釣りをしてる所の動画を載せたらどうか。
○ 宮浦港の遊漁船の棧橋が危険なので、修理の必要がある。

〔環境水道課〕

○ 簡易水道事業 平成23年3月～4月の受水状況1日平均4、413m³

○ 鶴石受水場更新工事等の入札・契約をした。
○ 下水道事業 5月1日現在 水洗化率 94・86% 普及率 92・93%

○ 7月2日に町内一斉清掃を計画している。
○ 平成23年度の予算として浄化槽設置と住宅太陽光発電システムに補助を予定している。



危険な状態の棧橋



県の説明に対し、活発な議論



井下 良雄 委員長

活性化対策特別

〔豊島廃棄物中間処理事業関係〕

5月31日、県から井上部長他5人の関係者に出席いただき、処理後の施設の有効利用について協議しました。
町長から、この問題はもうタイムリミット、町のゴミ処理も含め早く結論を出すようにとの挨拶の後、県から現況説明を受けました。

協力なければ炉を止める

委員から、県はもった性根を入れて有効利用の検討を。県と三菱と町の3者協議の内容を示せ等厳しい質疑が続き、井上部長から、法改正やコスト問題等で結論が出ていないが早急に出したいと答弁がありました。
最後に、早急に3者協議の内容の開示を要望して閉会しました。
6月14日、再度委員会を開催、県より平成20年から23年までの3者協議の検討内容の報告がありました。現在の炉ではいかに有効に稼働しても、ビジネスの可能性は低い。また、町の一般ゴミ処理も独自に整備する案が一番可能性が高いという内容でした。
町長から、施設整備には5〜6億円必要だが、県がいくら出すか。終了後10年間の協力も必要、答えがなければ処理を止める覚悟はある、との考えを示しました。
委員会として、受け入れ時の条件に合わないことや、施設整備の財源

等、県議会への説明も含め早急な回答を県に要望して閉会しました。

国内No.1の製錬所に

同じく5月31日、直島製錬所から森長副所長、平野課長他2人の出席をいただき、現況報告等説明を受けました。
森長副所長から、製錬所N・NEXT計画について、6年後の創業100周年までに、収益面の競争力を世界TOP10、国内No.1にする。

○子や孫に残す安全安心な製錬所にする。
○世界一美しい環境(きれい・快適・健康)トリプルKの製錬所にする。
とのビジョンの説明の後、東日本大震災の被害を受けた小名浜製錬所の復旧状況の報告がありました。
委員から、世界一美しい製錬所づくりの具体策、直島出身の高卒者採用の窓口拡大、製錬所行き大型車輛の道順対策等、多くの意見・要望して閉会しました。

議 ◆ 会 ◆ の ◆ 動 ◆ き

平成23年4月

8日 広報編集特別委員会

平成23年5月

2日 議員協議会

10日 平成23年第2回臨時会

12日 山口県光市議会行政視察に来庁

26日・31日 総務文教・経済民生合同常任委員会

31日 活性化対策特別委員会

平成23年6月

10日 議会運営委員会・広報編集特別委員会

14日 活性化対策特別委員会

15日 平成23年第3回定例会

16日~29日 広報編集特別委員会

23日 静岡県御殿場市議会行政視察に来庁

28日 新潟県上越市議会行政視察・埼玉県戸田市議会行政視察に来庁



“めざそう”世界一の製錬所

一般質問



丸山 義朗 議員



作田 宏 議員

ますか

当面する防災活動は

〔町長〕防災意識の向上を

甚大な被害が出た東日本大震災で被災され亡くなった方や、今なお避難されている方々に対し、お悔やみとお見舞いを申し上げます。

この大地震を機に防災について、意識の高揚になればと思う。

直島町はハザードマップや防災ガイドブック等を出し、県からも防災対策の本で東南海・南海地震が発生した時の被害状況

A

東日本大震災は大地震・津波・原発の放射能問題と、他人事ではないので町も真剣に考えたい。

平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災の時に自助・共助・公助という言葉が出た。

自助は「自分の生命は自分で守る」で防災グッズや家具類の転倒防止。共助は「地域住民が協

Q

東日本大震災発生直後に、静岡県から高知県の太平洋側の6県に対し、避難指示・勧告が出たにもかかわらず、指定場所に避難したのは、対象者の僅か25%であったがこれをどう思うか。

A

避難勧告を出してもなかなか避難してくれないのが現状である。

町の方針通りの行動ができるよう周知をするが、町民の協力をお願いしたい。

避難場所の見直しを

〔町長〕災害種別毎のハザードマップを策定する

現在、町内で指定されている災害時の避難場所は遠すぎる場所がある。

納言様や文教区は小・中学校が避難場所になっているが、特にお年寄りには遠すぎる。液状化現象が起これば歩くこともできないだろう。

全国各市町村で「避難マニュアル」の見直しが行われて、地震発生後の高台への避難を徹底するようだ。

A

町も、もう少し細分化して見直しをする必要があるのではないか。

（町長）南海地震による第1波の津波到着は発生後、約10分の想定で時間はあるが、地域での助け合いによる



普段から心掛け、準備しましょう

避難誘導や救助、情報伝達による活動が重要になってくる。

歩行困難な方など一人では避難することが難しい要援護者の避難方法は今後、関係機関との協議が必要だ。

液状化現象が起これば

力して助け合う」で家屋からの救出・怪我人の搬送等。

公助は「公的支援活動」であり、皆が被災されるので対応が難しくなる可能性がある。

9月1日、県と町が協力して防災訓練を実施予定であり、常備消防を持たない離島との合同訓練は珍しく、注目度が高まっている。

町民参加型訓練であり、地域の自主防災会へは、連絡体制や訓練の実施等を要望しており、小・中学校へも参加を打診して

消防団の車輛も役場の公用車も走れないので、地域の自主防災会の活動（共助）で対応することが重要だ。

液状化の調査は正確に調べるにはボーリング調査などが必要で、調査費が高額になり今後の課題としたい。

避難マニュアルを含めた防災計画の変更は現在、香川県が行っている内容を参考にして検討したい。津波などの被害想定でも県の変更内容が確定し

いる。

町民の皆様が県や町が実施している防災訓練や研修に、積極的に参加していただくことが最も重要だ。消極的な参加ではあまり効果がない。

自ら進んでやるんだと思う。意識改革が重要だ

と思う。



大谷 智子 議員

町長 どう 考え

新公民館に葬儀場を

〔町長〕十分に利用できる

町内の葬儀は自宅や老人ホーム・民生会館・福祉センター分館・島外の葬儀場で行っており、人口減少や高齢化の時代に自宅での葬儀は困難になっている。

そこで葬儀場の必要性について30人に聞き取り調査をした結果、女性の95%以上の方が必要と答えられた。

計画中の新東部公民館に多目的な葬儀にも使える室がほしい。

通夜の時、ご遺体を囲んで家族、親類、友人が故人を偲び語り合い、告別式には故人の人生にふさわしい音楽を流すなど心あたたまる葬儀ができれば、住民は幸せを感じると思うが。

A (町長) 現在の東部公民館・民生会館・旧診療所は老朽化したので撤去し、新しく建設する。通夜から葬儀の場所として十分利用できる施設にしたい。

町内の葬儀は自宅や老人ホーム・民生会館・福祉センター分館・島外の葬儀場で行っており、人口減少や高齢化の時代に自宅での葬儀は困難になっている。

(議員) 昨年度、死亡された方は46人で島外で葬儀をされた方は8人。島外の葬儀の場合、25万円〜30万円程度の料金がいる。直島では大きなお金をかけないで、できるようにしてほしい。



笑顔で対応しましょう

笑顔に勝るものはない

「小さい島を大きく美しく「実」のなる島へ」これを実現させるためにも役場の中を笑顔いっぱいにしてほしい。

- 笑顔の効果として
- ストレスを軽減する
- 免疫力が高まる
- ウイルスやガンを攻撃する
- 笑顔になる時は
- ほめられた時
- 嬉しいことがあった時
- 美味しい物を食べた時



現在使用されているゴミ袋 (大60ℓ、小40ℓ)

役場を訪れた人が町職員の笑顔で元気になれば国保の医療費も抑えることができるし、明るく楽しい直島になると思うが町長の考えは。

A (町長) 医療費の抑制になるかどうかは分からないが、町職員には挨拶や笑顔を心がけるようにお願いしている。

町の雰囲気もよくなるので町民の皆さんにも呼びかけていく。

生ゴミ用に小袋を

現在、町内に一人暮らしの高齢者が20人おられ、生ゴミは少量なので小さい袋で出したいという声がある。以前、町にお願いしたが、コストが高くてつくというので現在に至っている。

A (環境水道課長) この問題を解決するために、生協の袋などに町認定のシールを貼って出せば収集してもらえると、いうようにできないか。

(町長) 生協の袋などは環境の問題もあり、今後、さらに小さいゴミ袋の作成を検討していく。

故郷の魅力を再確認できる機会を



五十嵐 瑛子さん

いと思えました。

今回は直島小学校に支援員として勤務されている、五十嵐瑛子さんに登場していただきました。

Q 直島の工とこ・ワルイとはありませんか。
A 人とのつながりを大切に生活されている方が多いのがエトとこだと思います。ワルイとこではないですが、新潟県出身の私にとっては雪が降らないのがさみしいですね。

Q 最後に、婚活もしてほしいと思えますが…。
A 今は、将来の目標を達成することを最優先に考えているので…。

Q いつ頃直島に来られましたか。その動機は。

A 皆さんがあたたくく接してくださるのがとてもうれしんです。いつもありがとうございます。よろしくお願いします。

ありがとうございます。

Q 今の仕事は楽しいですか。仕事以外の活動は。

A 元気がいいの子どもたちにもたちらに囲まれて、とても楽しいです。仕事以外では、バレエボー

ルやヨガ、ALTのキンセラ先生の英語講座に参加しています。

直島の皆さんはバレエボールがとても上手で驚きました。私も早くうまくなりたいです。

また、地域に愛着や誇りを持っている人が多い土地には、自ずと人が集ま



「先生ここ教えて」算数の授業をしています

ると思います。島に生まれ育った皆さんが、故郷の魅力を再確認できる機会を設けてはどうでしょうか。

でも、ステキなだんなさんと、ゴールデンレトリバーを育てて、一緒に琴弾地の浜を散歩するのが夢です。(笑)

どうもお忙しいところ、ご協力ありがとうございます。



水泳授業が始まりました

した。これからも島人として、お仕事に遊びに充実した生活をお過ごし下さい。

編集後記

3月に発生した東日本大震災は、空前絶後の甚大な被害となった。それにしても発生から今日まで、国の災害対策は何もない。あるのは被災地や避難者そっちのけの、永田町での総理大臣に関する政局のゴタゴタだけではないか。

これには日本国民の大多数が、あきれ返っている。集まった義援金2,700億円も被災者に渡ったのは、わずか10数%の440億円余という。日本の政治家(屋)には被災者や災害弱者のことを考える余裕や、頭はないのか。

それでも為政者は東京のご真中で、名前と肩書きだけを振りまわす。この際、永田町を「名肩町」と地名を変更するのも面白いと思うのだが。(蓬記)

議会広報編集特別委員会

- 議長 長 蓬 清二
- 委員長 丸山 義朗
- 副委員長 作田 宏
- 委員 議員全員

どんどん応募ください！
表紙用の写真募集
(議会だより用)



直島町議会広報委員会では議会だよりの表紙用の写真「地域のイベントや子供たちを題材とした写真」を広く町民から募集します。採用分には、記念品をお送りします。
なお、詳細は議会事務局 TEL八九二二三九七までご連絡ください。